

省エネ・コスト削減を無料でお手伝い！

令和2年度

省エネルギー診断

省エネの専門家による診断を受けることで、**省エネ余地の発掘**や**省エネ対策による光熱費削減効果の見える化**が期待できます。以下のような支援を希望する事業所にオススメです。（診断内容のイメージは裏面をご参照ください）

- ・費用負担の発生しない**運用改善による省エネ・光熱費削減**の余地を調査してほしい
- ・設備改修を検討しているが、その**費用対効果**を確認したい
- ・**電気の契約内容の見直し**を公正な視点からアドバイスしてほしい
- ・診断結果を踏まえた**省エネに関する国や県の補助金**を紹介してほしい など

診断事業の概要

対象者	年間エネルギー使用量が 原油換算1,500kL未満の事業所 ※ご不明な場合はお調べいたします
申込方法	裏面の申込書に記入の上 メール 又は FAX での申し込み
診断費用	無料
申込締切	令和3年2月末日（先着70事業所）
必要事項	「茨城エコ事業所」及び「いばらき エコチャレンジ賛同事業所」への登録 ※登録前でもお申込み可能です
その他	新型コロナウイルス感染症対策に 十分留意しながら実施いたします

診断の流れ

1. 診断の申し込み	裏面の申込書に必要事項を記入し送付ください
2. 診断実施決定の通知	申込内容を確認のうえ、実施決定が通知されます
3. 事前アンケート	エネルギー使用量（電力等）、設備の稼働状況等の簡単なアンケートに回答いただきます
4. 省エネルギー診断	ヒアリングと現地確認による診断を実施します
5. 診断結果の報告	報告書が作成され診断結果の説明を受けられます

診断後に活用できる茨城県の補助金

令和2年度 中小規模事業所省エネ対策設備導入補助金の概要

対象者	省エネ診断を受診した事業所	対象設備	診断において省エネ提案を受けた設備
補助要件	① 令和元年度又は令和2年度中小規模事業所省エネルギー診断を受診していること ② 茨城エコ事業所ならびにいばらきエコチャレンジ賛同事業所へ登録していること ③ 診断結果における省エネ対策（設備の改修・更新及び運用改善）を全て実施すること ④ ③の省エネ対策の合計で省エネ率20%以上又は年間10t-CO ₂ 以上の削減が見込まれること		
申込締切	令和2年12月28日（先着10事業所程度）	補助率	1/3（上限100万円未満）

【省エネ診断に関するお申し込み・お問い合わせ】

株式会社 知識経営研究所 《本事業委託業者》
〒106-0043 東京都港区麻布十番2-11-5
TEL：03-5442-8421 FAX：03-5442-8422
メールアドレス：shindan@kmri.co.jp（担当：藤崎）

【補助金に関するお申し込み・お問い合わせ】

茨城県県民生活環境部環境政策課
〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6
TEL：029-301-2939
FAX：029-301-2949



【 申込書 】

送付先： 株式会社 知識経営研究所
E-mail： shindan@kmri.co.jp

担当者： 藤崎
F A X： 03-5442-8422

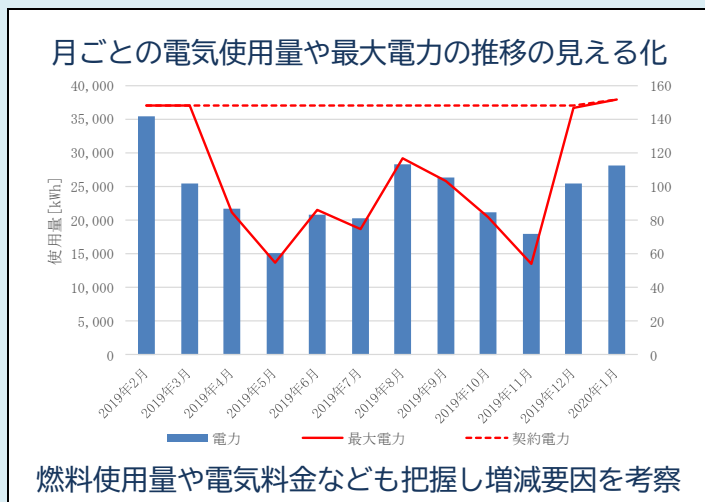
省エネルギー診断を申し込まれる方は、この用紙にご記入のうえ、メールまたはFAXでご応募ください。後日、担当者から確認の連絡をさせていただきます。

ふりがな			
事業所名			
住所	〒	茨城県	
電話番号		Eメール	
所属部署		担当者氏名	
希望する支援内容			

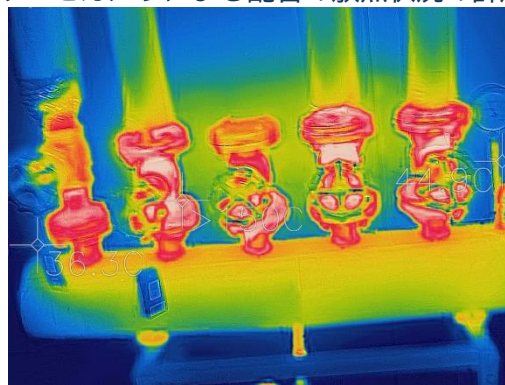
診断内容のイメージ

エネルギー使用状況の把握

測定器による計測



サーモカメラによる配管の放熱状況の計測



そのほか温湿度、照度、CO₂濃度などの簡易計測を実施

省エネ対策の事例（令和元年度の実績）

提案内容			試算効果			
			省エネ量	CO ₂ 削減量	光熱費削減額	投資回収年数
設備更新・設備改修	給気ファンのインバータ化	空調機の給気ファンにインバータを導入し、回転数制御によりモータ動力を減らすことで、ファンの電気使用量を削減	36,247 kWh/年	18.2 t-CO ₂ /年	834,000 円/年	2.2 年
	蒸気配管の保温	蒸気配管のバルブ等の露出部に保温加工し、放熱ロスを減らすことで、ボイラのA重油使用量を削減	3,400 L/年	9.3 t-CO ₂ /年	240,000 円/年	0.9 年
	蛍光灯のLED化	蛍光灯をLED灯に更新することで、照明設備の電気使用量を削減	54,321 kWh/年	28.4 t-CO ₂ /年	1,041,000 円/年	4.2 年
運用改善	空調機の外気導入量の削減	空調機の外気導入量を調整し空調負荷を減らすことで、チラーの電気使用量を削減	7,372 kWh/年	3.5 t-CO ₂ /年	147,000 円/年	設備投資なし
	蒸気ボイラの空気比の調整	空気比を適正な水準に調整し、排気ガスの排熱ロスを減らすことで、ボイラのA重油使用量を削減	1,134 L/年	3.1 t-CO ₂ /年	79,000 円/年	
	コンプレッサの吐出圧の低減	工場の生産設備が必要とする圧力に吐出圧の設定を下げ、コンプレッサの電気使用量を削減	16,141 kWh/年	7.7 t-CO ₂ /年	291,000 円/年	